

【総領事館からのお知らせ:バリ州での鳥インフルエンザ発生】

平成24年4月26日(総12第14号)
在デンパサール日本国総領事館

1. バリ州バンリ県トゥンブク郡(デンパサール市より北北東に約30キロ)に在住する8歳の女児が鳥インフルエンザに感染し、死亡する事案が発生しました。

報道によれば21日より発熱と頭痛の症状が見られ、呼吸障害が加わり、24日にサンラ病院に移送されましたが、同日夜に亡くなりました。感染経路については現在調査中ですが、不明です。

これにより今年のバリ州での鳥インフルエンザによる死者は2人となりました。

2. 度重ねてご案内していますが、インドネシアは日本と比較して鶏が身近に存在する環境であることから、極力鶏を含む鳥類には近づかないこと、調理の際は十分に加熱する、手洗い等の感染症対策を励行してください。

また、インフルエンザを疑う症状が出た場合には速やかに医療機関での診察を受けることをお勧めいたします。

3. 鳥インフルエンザに関しては、以下の情報提供も併せて御参照ください。

(1) 外務省海外安全ホームページ「感染症関連情報」(http://www.anzen.mofa.go.jp/kalian_search/index.html)

(2) 在インドネシア日本国大使館ホームページ「鳥及び新型インフルエンザ情報」予防や症状についての具体的な説明が掲載されています。(<http://www.id.emb-japan.go.jp/flu.html>)

以上